

令和2年度

事業計画書

建学の精神

建学の精神

人間性に支えられた高度な工業技術者を広く学術の研鑽を通じて育成する

基本理念

人を育て技術を拓く（ひらく）

教育目標

豊かな人間性の錬成とすぐれた工業技術者の育成

教育方針

- 学生の個性を伸ばすきめ細かな教育の実現
- 産業界を支える自立した実務型技術者の育成
- 国際社会で、職場で尊敬され、頼りにされる技術者の育成
（基本教科の確実な修得・コンピュータに強い技術者の育成・個性化への対応）

使命・目的

工業に関する専門の学術と一般の学芸とを教授研究し、かつ、人格の形成と陶冶を図り、もって文化の向上に寄与する

大学部門

I. 教育分野

① 学力3要素を考慮した新入試制度の実施

本学のアドミッションポリシーに基づき、「学力3要素」(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)を多面的・総合的に評価する入学者選抜を実施します。

② データサイエンス教育プログラムの検討

次世代の人材育成に向け、主体的・対話式の授業の推進やSTEAM教育の新たな手法を取り入れたデータサイエンス教育プログラムの構築に取り組みます。

③ 社会人基礎力を高めるインターンシップの拡充

組織的に2年次からインターンシップ参加を推奨し、インターンシップ参加率50%を目標とします。また、企業・自治体と連携した教育効果を高めるインターンシップを構築します。

④ 教育の質保証に向けた学修成果等の可視化

教育の質保証に向けて、学修ポートフォリオ評価と進路等の定量的な情報を組み合わせて多元的に学修成果を可視化するため、教学組織を強化し、IRに関わる指標を明らかにします。

⑤ 本学独自の奨学生制度の見直し

国の高等教育の修学支援新制度の創設に伴い、令和3年度入学生から本学独自の奨学生制度を見直します。



Ⅱ．研究・地域貢献分野

① 地域・産学連携センターを核とした研究活動の活性化

地域・産学連携センターを核とした、全学的な外部資金の獲得を推進し、教育研究の質向上と活性化を図ります。また、研究等で得られた成果を可視化し、地域社会や企業等に分かりやすく伝え、地域産業の振興に貢献します。

② 本学の特徴となる新たな研究強化分野の検討

本学の研究シーズの中から、地域産業の質的転換に寄与する技術、地域の課題解決や知見を見出し、研究強化分野としてリストアップします。

③ 工学とデザインの融合による SDGs の推進

新たに地域・産学連携センター次長（SDGs 推進担当）を設け、「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」の実績をもとに、自治体等と連携して SDGs を推進します。

④ 地元自治体と連携した地元企業就職者数の向上

地元自治体の協力のもと、キャリア系スタッフの強化や、地元企業へのインターンシップを推進し、地元就職者数の向上を図ります。

Ⅲ. 管理・運営

① 大学機関別認証評価の適合判定

教育研究における大学の内部質保証機能を重視した新評価システムに対応した教育改革と、それに連動した自己点検・評価活動を推進し、令和3年度に受審する大学機関別認証評価に向けての自己点検評価書の作成及びエビデンスの整備を行います。

② 組織力向上を目指したSDの充実と仕事・スキルの見える化

職員の資質向上を目指した計画的かつ実践的なSD、OJT等の研修の充実や業務改善を推進し、組織力向上を図ります。

③ 危機管理体制の強化

これまでに学内で対応した危機や事象も踏まえた危機管理マニュアルの刷新と、日頃からの危機管理に対する教職員への周知、啓発を行うと共に、大規模な自然災害や、事件、事故など不測の事態に備えるために、地元自治体や近隣病院等との連携の推進を図ります。

④ 大学の情報発信について

本学の教育・研究・社会貢献活動などの情報をホームページや様々な媒体を利用して学内外に発信を行うと共に、本学の教員や学生を地元の小・中学校、高等学校に積極的に派遣し理系進路選択支援を行うなど広報活動を促進します。

基盤整備部門

- 1) おばせキャンパス総合体育館 LED 照明更新
- 2) おばせキャンパス敷地内街灯 LED 照明更新
- 3) おばせキャンパス電話交換機更新
- 4) おばせキャンパス K 棟耐震診断
- 5) おばせキャンパス M 棟大学看板更新
- 6) おばせ・小倉両キャンパス券売機更新
- 7) 小倉キャンパス本館・S 棟プロジェクター更新
- 8) 小倉キャンパス S 棟ロールカーテン設置
- 9) 事務職員パソコン更新